

研究課題名	大腿膝窩動脈病変を有する症候性下肢閉塞性動脈硬化症患者における収縮期最大血流速度比と圧較差ならびに血流予備量比の関連に関する多施設後ろ向き研究
研究の意義・目的	<p>近年、下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療の進歩は目覚ましいものがありますが、未だ十分とは言えません。現在、下肢動脈に対する治療時において、病変前後の圧の違いは日常臨床の中で計測していますが、未だその意義は明らかではありません。</p> <p>冠動脈（心臓の血管）に対するカテーテル治療時においては、病変前後の圧の違い（圧較差や圧の比（血流予備量比））を計測する事で、適切な病変の把握に役立ち、その後の予後改善効果が知られており、下肢動脈領域での検証が望まれます。</p> <p>今回、動脈エコーで評価した病変の狭窄度（病変部での血流速比）と、カテーテルで計測した病変前後の圧の違いとの関連を検討するため、本研究を行う事といたしました。</p> <p>今回本研究においては、日常診療の範疇で得られた情報を、個人名等が分からない形として情報を統合し、代表機関である大垣市民病院へ提供し、解析を行います。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2022年4月～2023年3月において大阪公立大学医学部附属病院の循環器科で、大腿膝窩動脈病変を有する下肢閉塞性動脈硬化症に対してカテーテル治療を行い、病変前後の圧の違いを計測した方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：【年齢、性別、身長、体重、病歴、ABI、エコー所見、血液検査、服薬内容、カテーテル治療内容、カテーテル治療時の病変前後での圧の変化】</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名（提供元について）	<p>大阪公立大学医学部附属病院 機関の長の氏名：中村 博亮</p> <p>京都桂病院 機関の長の氏名：若園 吉裕</p>
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	<p>研究責任者氏名：吉岡 直輝、森島 逸郎</p> <p>研究機関名：大垣市民病院 循環器内科</p>
試料・情報を利用する者の範囲	<p>大垣市民病院 循環器内科 吉岡 直輝、森島 逸郎</p> <p>大阪公立大学医学部附属病院 循環器内科 島田 健晋</p> <p>京都桂病院 循環器内科 岩崎 義弘</p>
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	大垣市民病院 循環器内科 吉岡 直輝、森島 逸郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 循環器内科学 (担当者氏名) 島田 健晋 電話番号 : (0 6) 6 6 4 5 - 3 8 0 1
------------	--